

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

市町名	大崎上島町
所属名	健康福祉課
担当者名	川上 慎司
連絡先(電話)	０８４６－６２－０３０３

タイトル	権利擁護支援の推進
区分(あてはまるものにチェックを)	☒ 自立支援、介護予防、重度化防止 ☐ 介護給付費等適正化

現状と課題			
高齢化に伴い、認知症高齢者や障害者など、判断能力や生活能力が不十分な人々が増加している。こうした人々が安心して暮らせる社会の実現には、権利擁護支援の整備と強化が不可欠となっている。 本町では、判断能力が低下した高齢者や障害者が地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度に関する相談から申立て、受任まで一貫した支援を行っている。また、社協が行っている福祉サービス利用援助事業「かけはし」を通じて、日常的な金銭管理や福祉サービスの相談支援も実施していく。			
第９期（令和６年度）における具体的な取組			
相談の経路や内容が多様化しているため、各相談窓口や関係機関が連携・調整しながら対応を行う。また、認知症高齢者の増加や、身寄りがなく、親族から支援が期待できないケースなどが増えてきているため、民生委員向けに権利擁護について研修を実施していく。			
目標（事業内容、指標等）			
	令和６年度	令和７年度	令和８年度
成年後見制度利用支援	１件	３件	３件
高齢者虐待対応	２件	３件	３件
目標の評価方法			
・成年後見制度利用支援事業の対象となる件数をカウントする。 ・高齢者虐待対応を行った件数をカウントする。			

取組と目標に対する自己評価シート(自己評価結果)

(実績評価)

実施内容
相談の経路や内容が多様化しているため、各相談窓口や関係機関が連携・調整しながら対応を行った。また、民生委員向けに権利擁護について研修を実施した。
自己評価結果 【○】 ←(◎, ○, △, ×のいずれか※を記載してください。)
成年後見制度利用支援 → 1件対応 高齢者虐待対応 → 2件対応
課題と対応策
【課題】 ・制度や支援の種類が多岐にわたる一方で、本人や家族にとっては内容がわかりづらく、適切な支援にアクセスできないケースが多い。特に権利擁護支援に関する情報提供が不足している。 ・高齢者や障害者への虐待、詐欺、経済的搾取などの被害は表面化しにくく、本人が自ら声を上げられない状況も多い。権利侵害の「見える化」と早期発見の仕組みが必要である。 【対応策】 ・制度のわかりやすい周知と相談体制の強化を図る。 ・地域の専門職や関係機関との連携をより一層強化し、権利擁護に関するネットワークの構築や取組を推進していく。

※「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」